

教職員・研修医の外部被ばく線量測定

1. 目的

東京電力福島第一原発事故による放射線の影響について、本学教職員・研修医の外部被ばく線量を測定し、今後の学生・教職員の健康管理に努めるとともに安全・安心を確保する。

2. 積算線量測定の実施内容

(1) 測定方法

積算線量計(バッジ)を配付し、学内外で昼夜を通して一定期間着用する。

着用期間終了後、専門業者のバッジサービスにより、法令に準拠して測定する。

【結果の取扱】

- ① 外部被ばく線量測定個人報告書 …… 各期間ごとに測定者本人に交付する。
- ② 外部被ばく線量測定報告書(一覧) …… 学事課で保管する。

(2) 対象者 本学教職員・研修医 100名

(3) 測定期間

1回目	平成27年9月1日(火)	～	平成27年9月30日(水)
2回目	平成27年10月1日(木)	～	平成27年10月31日(金)
3回目	平成27年11月1日(日)	～	平成27年11月30日(月)

(4) 使用線量計 長瀬ランダウエア社製 クイクセルバッジ

3. 外部被ばく線量測定結果(ミリシーベルト : mSv)

平均値	第1回目	第2回目	第3回目
1か月あたり	0.004mSv	0.001mSv	0.002mSv
年間被ばく量(予想)	0.048mSv	0.012mSv	0.024mSv

※注意 年間被ばく量(計算値)は今回の1か月あたりの値を12倍した。

4. 本学の校舎等入口の放射線量測定結果(測定日 : 平成27年12月22日)

校舎等名	放射線測定値(ミリシーベルト : mSv/h)
中央棟入口	0.00012 mSv
第2講義棟入口	0.00015 mSv
第3講義棟入口	0.00014 mSv
薬学部棟入口	0.00020 mSv
メモリー入口	0.00014 mSv
薬学部実習棟東入口	0.00020 mSv
薬学部自習室入口	0.00019 mSv

【結果概評】

調査対象教職員・研修医の1か月あたりの外部被ばく線量測定結果により、**年間積算の被ばく線量は1ミリシーベルト(mSv)以下と想定される。**

ICRP(国際放射線防護委員会)が通常時の公衆の年間被ばく線量上限とする**1ミリシーベルトを超えないと想定される。**